



中部電力ミライズ

# 卒FITを迎えたご家庭の太陽光発電設備を活用した 新たなオフサイトPPAサービスの概要

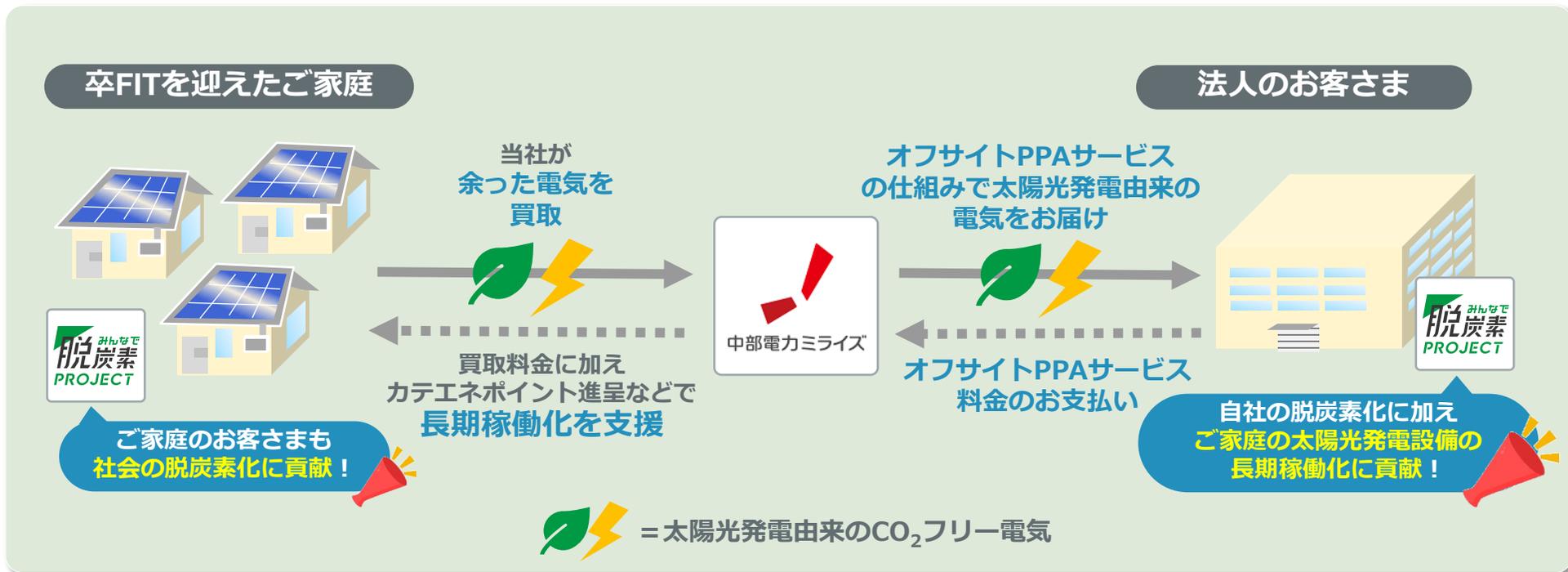
中部電力ミライズ株式会社

2025年4月1日



# ご家庭で生まれた太陽光発電由来の電気を活用し ご家庭・法人のお客さまと“みんなで”脱炭素化の推進へ

- 本取り組みでは、当社が、卒FIT※を迎えたご家庭のお客さまから太陽光発電由来の電気を買取り、オフサイトPPAサービスの仕組みにより法人のお客さまへお届けします。
- 当社が、売電にご協力いただくご家庭のお客さまに、通常の卒FITプランにおける買取価格に加えカテエネポイントを進呈するなど、卒FIT後も引き続きご家庭の太陽光発電設備を活用していただけるよう支援いたします。
- 法人のお客さまは、中部電力ミライズにお支払いいただくオフサイトPPAサービス料金の一部がご家庭のお客さまへの支援に活用されるため、ご家庭の太陽光発電設備の長期稼働化に貢献いただくことができます。

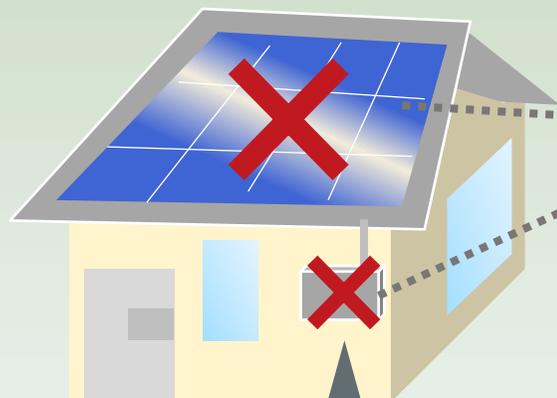


※ 「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づく10年間の調達期間が満了していること。

# 既存の再エネ電源の「長期稼働化」の意義

## ～ご家庭の再エネ電源を「より長く大切に」使い続けてほしい～

- 脱炭素社会の実現に向けて、再エネを主力電源にするためには、発電設備の新規拡大に加え、**既存の再エネ電源をいかに有効活用するか**という点も重要となります。
- しかし、一般的に再エネ設備は、長期間の使用で**経年劣化による不具合や故障**が発生する可能性が高まります。特にご家庭に導入された太陽光発電設備は、その**修理や交換にかかる費用が障壁**となり**長期活用を諦めてしまうこと**が懸念されます。



長期間稼働すると、**設備の経年劣化**により**発電停止**の可能性あり

日常・定期点検に加え、故障や劣化した設備は**修理や交換が必要**



**故障を放置されるケースも**  
「交換したいけど、すぐにはお金が……」  
「十分元もとれたから、修理は……」

故障を放置すると…

電気代上昇 売電できない

非常用電源として活用できない

**【ご参考】パワーコンディショナ**  
太陽光パネルで作られる直流の電気を  
ご家庭で使える交流に変換する機器  
一般的な耐用年数（目安）：10～15年



当社の  
想い

お客様の設備修理や交換等を支援し、  
**長く安全に**太陽光発電をお使いいただきたい

# 本取り組みにご参画いただける法人のお客さま

## 伊那食品工業株式会社



商業施設「monterina (モンデリイナ)」にてご活用。中部電力ミライズのオンサイトPPAも導入いただいております。電力の再エネ化など脱炭素化を進めるとともに、自然との共生を目指した取り組みも行われています。

超精密への挑戦  
Takashima

## 高島産業株式会社 Takashima Sangyo Co., Ltd.



諏訪工場、本社御狩野工場にてご活用。2030年までにCO<sub>2</sub>排出量50%減、2050年までにカーボンニュートラルを目標に掲げ、省エネ、脱炭素化、再エネ化の取り組みを進められています。

## TOYO SEIKO CO., LTD. 東洋精鋼株式会社 World Leading Company for Shot Peening



本社事業所にてご活用。事業活動の中で環境に与える主要な影響を継続的に改善することで、緑豊かな地球環境に融和するという環境方針を掲げ、取り組みを進められています。



## マルヤス工業株式会社 MARUYASU INDUSTRIES CO., LTD.



岡崎日名工場にてご活用。中部電力グループのオンサイトPPAを導入いただいております。2040年カーボンニュートラル実現に向けて、電力の再エネ化をはじめとした脱炭素の取り組みを進められています。



## 株式会社 ミスズ工業



本社工場、箕輪工場にてご活用。「環境にやさしい企業活動を行う」という環境基本理念を掲げられ、CO<sub>2</sub>排出量の低減など環境に配慮した企業活動を行い環境保護を推進されています。

# 【ご参考】 みんなで脱炭素プロジェクトとは

- 電気を届ける当社だけでなく、電気をお使いのお客さまにもご協力いただきながら、中部エリア内の再エネ電源の開発や、再エネ由来の電気の有効活用などを進めていく取り組みであり、2024年2月から開始しました。

## みんなで脱炭素プロジェクトが目指すもの

### Step1

お客さまが再エネの電気を

選ぶ

みんなで  
脱炭素  
PROJECT

### Step2

お客さまがその電気を

使う

### Step3

その収益で再エネを  
さらに

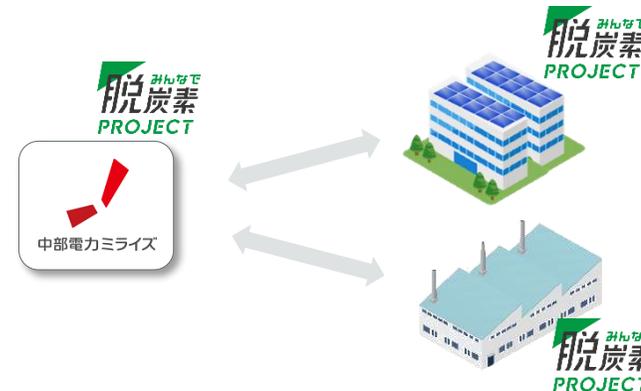
増やす



## 一緒に取り組む企業とともに

### 再エネを「増やす」の活動に見える化

ご参加いただく企業とプロジェクトロゴの共同使用すること等を通じて、再エネを増やす取り組みを世の中に見える化し、地域全体に活動を拡げることを目指します。



### お客さまの企業価値向上へ

テレビCM等を通じてプロジェクトに対する認知・理解を促進することで、ご参加いただく企業のステークホルダーに対する脱炭素施策のPR活動を支援いたします。